

コロナ減少するも日常生活戻らず！

半世紀の時を経て結実

祝西九州新幹線開業



9月23日(金)県民待望の九州新幹線西九州ルートが開業した。代名詞は「日本一短い」西九州新幹線。長崎・武雄間66km、最速23分。博多～長崎最速1時間20分。従来より30分短縮。ただし、武雄温泉で乗り換えが必要。(佐賀から福岡までどう整備するかは決まっていない。)

開業を盛り上げるいろいろなイベントが実施されたが、中でも9月22日、23日両日の航空自衛隊「ブルーインパルス」の飛行で盛り上がった。

22日は高台に、23日は皇后島(ねずみ島)岸壁に向いた。試験飛行の22日は晴れ、23日はあいにくの雨だったが、岸壁周辺はピーク時130台の車が押し寄せ、地域センター前の県道は渋滞するほどだった。

親子3世代で見物に来ていた小学生の子供は、上空を飛行するたびに「ウオー」「カッコイイ」と、お母さんは「初めて見ました。もう見ることはないと思いますけど、いい思い出になりました。」と、お祖母さんは「飛行機の音ば聞けば戦時中ば思い出す」と、お話を聞きながら当然の事ながら、世代で感じ方が違うのを痛感。とにか開業しました。

長崎は新たな時代に突入。新幹線開業効果と交流人口と定住人口を増すことに尽きると思う

台風14号避難所開設

9月18日(月)午前9時、長崎市は市内266ヶ所ある市指定避難所のうち154ヶ所を開設した。

避難者は19日午前0時時点で2,546世帯40,472人。

小榊地区は、木鉢1丁目公民館3人、木鉢2丁目公民館2人、小榊小学校9人、小榊会館11人の合計35人。西工場(準避難所)も開設。17日住民の方から「会長、西工場は避難所として開けるのか?」と問い合わせが入り環境整備課課長と連絡取り合い、18日午前9時に開設してもらうように調整。

※開設19日午前9時、木鉢2人、小瀬戸14人、神の島32人、合計48人の方が避難した。

西工場は令和2年9月の台風10号の時から避難所としてスタートしたが、①自家発電による停電がない。②エアコン等空調が快適である等の理由で避難される方にとってメリットがあり人気!

本日(9/18)西工場へ避難ご希望の方へ

- ・最初に受付を行いますので3階市事務室(エレベーター降りてすぐ右)へお越しください
- ・避難場所は4階大会議室となります
- ・トイレは4階大会議室前にございますのでそちらをお使いください
- ・禁煙域が通過するまでは職員が3階市事務室へ常駐する予定です

長崎西工場3階市事務室
電話番号:095-894-5230

小瀬戸町連合自治会
町内一斉清掃
10月16日(日)午前8時
西集会所前 集合
皆様のご協力をお願いいたします

お知らせ

11月3日に予定していましたが「町内レクリエーション」は、コロナウイルス感染拡大に伴い、役員会で中止と決定しました。

昨年と同様に各自治会による「ねずみ島公園草刈り」を実施します。ご協力よろしくお願いたします。

※詳細は後日チラシを回覧いたします。

西部下水処理場からのお知らせ

平成4年度から操業開始の西部下水処理場。平成20年前半は臭気の発生で施設の改善等地元とのやり取りがありましたが、平成26年度以降は前倒しで点検及び部品交換等を実施しているため、臭気のクレーム発生無しの状態が継続している。

先日長崎市上下水道局事業部下水道施設課より「西部下水処理場主流入ゲートの点検の実施について」のお知らせが届きました。 ※詳細回覧します。

玄関入り口ゲートを開けての点検作業になるため、臭気発生が考えられるとの事。前回も同様の作業があったが、その都度実際に自治会エリアを実査され、臭気の確認を実施してもらっている。 ※当日臭気等感じましたらご一報ください。

中部下水処理場(茂里町)廃止

自治会だより等で以前お知らせしていましたが中部下水処理場が令和6年3月末日で廃止になります。(予定)

令和3年度の1日当たりの処理能力は、中部下水処理場15,000m³、西部下水処理場65,000m³、廃止に伴い西部下水処理場で全て処理するようになります。1日当たり80,000m³(予定)

只今西部下水処理場では受け入れの建屋、機器等の増設等改修工事を行っていて、順調に推移している。

いずれにしても、令和6年3月末日の稼働が目標(予定)

西工場定期検査のため休炉

ごみ焼却施設「西工場」が法定定期検査のため、10月6日～10月26日まで1号炉、2号炉共に休炉となります。市民生活のごみステーションは通常通り。集積したごみは一部東工場に搬入。

休炉に伴い熱源の供給ができないため「神の島プール・風呂」が、10月5日(水)～10月28日(金)まで休館となります。

敬老の日に寄せて

敬老の日をお迎えになられた皆様に心よりお祝い申し上げます。

激動の昭和・平成・令和それぞれの時代を生き抜いてこられた皆様方の多方面にわたるご尽力の賜物であると、深く敬意を表し感謝申し上げる次第です。

昨今では新型コロナウイルス感染拡大が長期化し、お仲間やご友人達との集まりが中止を余儀なくされる中で、大変ご苦勞の多い日々をお過ごしのことと存じます。今年の「敬老会」開催につきましても、連合自治会三役会で祝賀会を開催するか検討を重ねた結果、コロナウイルス感染拡大を受け今年も中止と苦渋の決断に至りました。

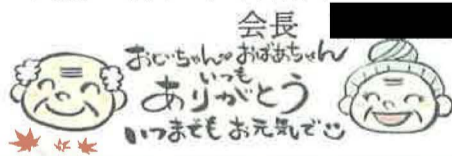
対象の20名の皆様方には昨年引き続き、お米2kgを組長さんを通じてお配りしたところ、「早速食べて元気になろう」とか逆に「元気にしとかんばよー」とねぎらいの言葉を頂きました。中に体調を崩されてホームに入所された方、子どもさんの所に行かれた方、病氣と向き合っている方等もいらっしゃいました。

体調が回復され、健康を取り戻されることを心よりお祈りしています。

長寿国日本、人生100年時代と言われるようになりました。どうか皆様方も健康に留意してお体を大切にお過ごしくださいますようお願い申し上げます



令和4年9月敬老の日にあたって
小瀬戸町西二区自治会



旧小榊小学校跡地有効活用関連

9月号自治会だよりでもお知らせしましたが、8月5日小榊地域センター2階で、市役所理財部資産経営室から市の計画等の説明会が実施され、地域住民の方から運動場を中心としたスペースの草刈りを実施して欲しい等、数項目の要望が出され、市側も「ご要望の意見を聞きますが時間をください。」との回答であった。財産活用課を窓口にして入札を行い、9月22日(木)には写真のようにほぼ仕上げの状態に草刈りを実施してもらった。

説明会開催のタイミングとしては若干遅い気もしたが、市側と地域住民で意見交換をすることにより、地域要望を一つ一つクリアできればと思う。他に要望している事項も結果として形になるように交渉を続けたい。

※行政(市)側との交渉事は、平成28年操業開始の「西工場」以来。

